

## 支部 *Newsletter*

### 北海道支部

#### ◎第65回大会の開催(報告)

12月5日(土)～14日(月)、本支部第65回大会がウェブカンファレンスの形式で開催されました。今大会は4件の研究発表および語学部門セミナー「なぜ英語は主語と助動詞を倒置するのか」が行われ、コロナ禍のもとでこれまで経験のない形式での開催でしたが、充実したプログラムとなりました。

#### ◎理事会および総会について(報告)

12月5日(土)～12日(土)にメール会議の形式で開催された理事会では、議題3点と報告4点がありました。会計状況等および2021年度の支部大会開催ブロックが提案され、承認されました。また、同じくメール会議の形式で開催された総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催ブロックの報告がなされました。

#### ◎支部理事選挙について(報告)

10月、次期支部理事選挙で10名の候補者が選出されました。選挙管理委員は岡崎清氏(札幌学院大学)と眞田敬介氏(同)が務めました。

#### ◎新支部体制について(報告)

12月、支部規約に則り、新しく選出された理事による理事会での審議を経て、新支部体制は、以下のように承認されました。(敬称略)

支部長：上野誠治(北海学園大学)

副支部長・本部評議員：松井美穂(札幌市立大学)

副支部長：野村益寛(北海道大学)

理事：上野誠治、岡崎清(札幌学院大学)、奥聡(北海道大学)、金井彩香(公立千歳科学技術大学)、眞田敬介(札幌学院大学)、瀬名波栄潤(北海道大学)、十枝内康隆(北海道教育大学旭川校)、野村益寛、濱田英人(札幌大学)、星野立子(北海道教育大学函館校)、松井美穂、三好暢博(旭川医科大学)

会計監査委員：對馬康博(藤女子大学)

事務局長：藤田佳也(酪農学園大学)

事務局長補佐：森川慎也(北海学園大学)、渡部あさみ(北海学園大学)

また、本部理事には瀬名波栄潤氏を候補者として推薦することになりました。運営委員会の構成については、支部ホームページにて別途ご案内致します。

#### ◎『北海道英語英文学』第66号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第66号に掲載する原稿を募集しています。締切は2021年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第65号(『英文學研究 支部統合号』第13巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

#### ◎第66回支部大会について

2021年度支部大会は、道北東ブロックでの開催に決定しました。開催校および日程について確定し次第、支部ホームページにてご案内致します。

#### ◎2021年度の事務局について

2021年度の事務局は以下の通りです。

〒069-8501 江別市文京台緑町582番地  
酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類  
藤田佳也研究室内

[TEL/FAX] 011-388-4704

[メールアドレス] hokkaido@elsj.org

[ホームページ]

<http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

#### ◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責 藤田佳也)

### 東北支部

#### ◎第75回支部大会開催報告

第75回東北支部大会は、本支部ホームページに特設ページを設けてウェブカンファレン

ス形式で開催されました。当初は開催期間を2020年11月21日(土)から27日(金)までとしておりましたが、12月4日(金)までに延長し、期間中は特設ページにおいて研究発表および質疑応答が掲載されました。4件の研究発表が掲載され、会場での大会同様に特設ページ上において質疑応答が行われました。

コロナ禍での対応として開催形態をウェブカンファレンス形式に変更することに決定したものの、手探り状態でした。大会準備の会議もオンラインで行い、様々な協議を経てなんとか開催にこぎつけることができました。大会準備から運営に至るまでご尽力くださった大会準備委員、開催校委員の皆様、研究発表された皆様、ご参加くださった皆様にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

詳細は東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)をご覧ください。

#### ◎支部役員選出

9月から10月にかけて支部役員選挙が実施され、選挙結果にもとづいて次期役員が選出されました。新たに選出された支部・本部役員、理事は以下のとおりです。

支部長・本部理事：川田潤(福島大学)

副支部長・本部評議員：大貫隆史(東北大学)

理事：大西洋一(秋田大学)、大貫隆史(東北大学)、金子淳(山形大学)、川田潤(福島大学)、木村宣美(弘前大学)、境野直樹(岩手大学)、佐々木和貴(秋田大学)、島越郎(東北大学)、鈴木亨(山形大学)、竹森徹士(宮城教育大学)、福士航(東北学院大学)

#### ◎東北支部研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。今回の締切は2021年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロードのうえ、事務局([tohoku@elsj.org](mailto:tohoku@elsj.org))宛にご応募ください。

#### ◎『東北英文学研究』第11号発行および第12号原稿募集

『東北英文学研究』第11号が『英文学研究 支部統合号』第13号に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第12号の原稿を募集しています。締切は2021年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧の上、事務局([tohoku@elsj.org](mailto:tohoku@elsj.org))宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責 竹森徹士)

#### 関東支部

#### ◎関東支部第19回大会(2020年度秋季大会)ウェビナー開催について

日本英文学会関東支部第19回大会(2020年度秋季大会)は、2020年11月8日(日)にZoomウェビナーで開催いたしました。オンライン学会は、関東支部として初の試みとなりましたが、おかげさまで無事に開催することができました。当日ご登壇、ご発表くださった皆様、オンラインでご参加くださった皆様に重ねて御礼申し上げます。開催のためにご尽力いただいた大会準備委員の皆様にも感謝申し上げます。

#### ◎関東支部第20回大会について

日本英文学会関東支部第20回大会は、全国大会が2021年5月22日(土)・23日(日)に早稲田大学戸山キャンパス(東京都新宿区)で開かれるため、2021年秋に開催いたします。具体的な開催形態と日程は2021年4月の大会準備委員会にて検討されます。研究発表応募締切は2021年6月末を予定しています。詳細は関東支部ウェブサイト(<http://www.elsj.org/kanto/index.html>)をご覧ください。

#### ◎『関東英文学研究』第14号について

『関東英文学研究』第14号への投稿を募集しております。締切は2021年5月15日(土)(必着)です。奮ってご投稿ください。投稿規定につきましては、関東支部ウェブサイト、および『関東英文学研究』第13号の巻末をご覧ください。

### ◎2020年度関東支部総会報告

2020年度秋季大会がオンライン形式での実施となりました関係で、大会時に予定していた総会は11月14日から11月19日まで支部HP上で開催いたしました。主な議題は以下の通りで、審議事項に関してすべてご承認いただきました。皆様のご協力で御礼申し上げます。

1. 支部長報告(2021-22年度関東支部理事会の構成、監事、2021年度全国大会について)
2. 大会準備委員会報告(2020年度秋季大会について)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第13号について)
4. 事務局報告(2019年度収支決算・会計監査について)

### ◎理事会報告

2020年11月8日(日)に、Zoom オンラインにて2020年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(役員選挙管理委員、次回役員選挙の方式、2021年度全国大会など)
2. 大会準備委員会報告(秋季大会ウェビナー開催、次年度の秋季大会、次年度の委員人事など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第13号、次年度の委員人事、編集内規申し合わせなど)
4. 事務局報告(2020年度秋季大会ウェビナー契約、2019年度会計監査など)
5. 関東支部監事2名体制について
6. 理事選挙結果報告と理事会推薦理事の選任について
7. 2021年度大会準備委員長と編集委員長について
8. 理事会推薦理事の選出について
9. 本部へ選出する評議員1名について
10. 本部へ選出する理事2名について
11. 次期支部長について

### ◎編集委員会報告

2020年9月12日から16日まで2020年度第3回編集委員会がメール会議にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2020年度優秀論文賞・若手奨励賞について 該当論文なし
2. 特別寄稿論文査読報告、判定
3. 2020年度再投稿論文査読報告、判定
4. 編集内規に関する申し合わせ
5. 2021年度の後任委員  
以下の人事を承認(敬称略：以下同様)  
2021年度委員長 笹川浩(中央大学)  
イギリス文学 麻生えりか(青山学院大学)  
→加藤めぐみ(都留文科大学)  
猪熊恵子(東京医科歯科大学)→宮丸裕二(中央大学)  
小川公代(上智大学)→高桑晴子(お茶の水女子大学)  
アメリカ文学 竹内美佳子(慶應義塾大学)  
→牧野理英(日本大学)  
深瀬有希子(実践女子大学)→常山菜穂子(慶應義塾大学)  
英語学・英語教育 石黒太郎(明治大学)→  
島崎里子(昭和女子大学)

### ◎大会準備委員会報告

2020年8月4日から11月12日にかけて2020年度第3回大会準備委員会がメール会議にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2021年度副委員長(2022年度委員長)(敬称略：以下同様)  
山本真司(青山学院大学)が2021年度副委員長に選出された。  
なお、2021年度委員長は川崎明子(駒澤大学)。
2. 2021年度の後任委員  
以下の人事を承認  
岩永弘人(東京農業大学)→諏訪友亮(実践女子大学)  
田代尚路(大妻女子大学)→中嶋英樹(多摩美術大学)  
佐藤里野(東洋大学)→大森裕二(拓殖大学)  
久世恭子(東洋大学)→瀧口美佳(立正大学)
3. ウェビナー契約
4. リハーサル2回実施
5. 今後の予定  
次年度の大会(秋季大会) 会場校を含めて2021年4月に開催される委員会で検討する。

6. 支部大会 Proceedings(電子版・PDF版)日程と発行手順の確認

◎2021-2022年度日本英文学会関東支部役員選挙結果報告

2020年10月5日(月)締切にて、2021-2022年度日本英文学会関東支部役員選挙が行われました。従来の紙媒体での投票に加え、電子投票での実施となりました。結果を下記のとおり報告いたします。

【選挙選出理事11名】(50音順、敬称略)

阿部公彦(東京大学)、新井潤美(東京大学)、アルヴィ宮本なほ子(東京大学)、遠藤不比人(成蹊大学)、大石和欣(東京大学)、斎藤兆史(東京大学)、秦邦生(東京大学)、武田将明(東京大学)、巽孝之(慶應義塾大学)、原田範行(慶應義塾大学)、中井亜佐子(一橋大学)

【理事会選出理事7名】(50音順、敬称略)

奥聡一郎(関東学院大学)、越智博美(専修大学)、川崎明子(駒澤大学)、後藤和彦(東京大学)、笹川浩(中央大学)、佐藤和哉(日本女子大学)、寺澤盾(東京大学)

【2021年度日本英文学会関東支部】(敬称略)

支部長	奥聡一郎(関東学院大学)
副支部長	佐藤和哉(日本女子大学)
本部理事候補	阿部公彦(東京大学)、原田範行(慶應義塾大学)
監事	諏訪部浩一(東京大学)、舌津智之(立教大学)
評議員	佐藤和哉(日本女子大学)
事務局長	笹川渉(青山学院大学)

◎事務局よりご連絡

- 皆様方のご協力とご尽力により、秋季大会がオンラインにて無事に開催されました。心より御礼申し上げます。2021年度秋季大会の開催形態については2021年4月の大会準備委員会にて具体的に検討予定です。研究発表をご検討の方は、支部HPをご参照の上、どうぞ奮ってご応募ください。
- 『関東英文学研究』第13号には、8本(アメ

リカ文学5本、イギリス文学3本、英語・英語教育0本)の投稿論文が寄せられ、特別寄稿論文と合わせて5本が掲載されました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。ぜひ積極的にご投稿ください。

- 2020年度に開催が予定された岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講演会(日本英文学会関東支部共催、講師は東京大学大学院教育学研究科の斎藤兆史教授(関東支部理事))は、コロナの現状に鑑みて残念ながら中止となりましたが、今後も関東支部では、中学校、高等学校を対象に、支部会員を英米文学/英米文化に関する講演や授業に講師として派遣して参ります。講演料は関東支部の基金から支出します。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、教育委員会関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局(kanto@elsj.org)までご連絡ください。詳しくは、支部ウェブサイトの「講師派遣事業」のページをご参照ください。

(文責 竹内理矢)

## 中部支部

◎第72回支部大会報告

中部支部第72回大会は、岐阜大学を大会開催校として、2020年10月24日(土)~11月8日(日)の16日間にわたり、ウェブ上の特設サイトで開催されました。大会ではシンポジウム3件と7人の研究発表が行われ、開催期間中のサイト訪問者は109名、閲覧回数は380回でした。

特設サイトの構築は、大会開催校委員および事務局が、無料ホームページ作成サービス「Wix.com」を用いて行いました。特設サイトに発表資料のPDFを掲載するとともに、Googleフォームによって参加者からの質問・コメントを収集し、質疑応答ページにはシンポジウム講師間のやり取りや発表者と参加者とのやり取りを掲載しました。なお大会最終日に寄せられたご質問に対応するため、発表資料と質疑応答ページの公開は11月14日(土)まで延長しました。

シンポジウム・研究発表は知的刺激に満ちたものが多く、質疑応答ページでも活発な議論が行われ、盛会のうちに終了しました。開催校である岐阜大学関係者の皆様、会員の皆様、シンポジウム講師、研究発表者、司会者の皆様には厚くお礼申し上げます。

大会プロシーディングズは、中部支部ウェブサイトにて2021年2月1日ごろ掲載されますので、ご高覧ください。

また、ご発表を元に論文に発展させ、『中部英文学』へのご投稿を検討していただければ、尚幸いです。

### ◎支部総会報告

支部大会がウェブ開催に変更されたことに伴い、支部総会もまたオンライン開催となりました。

10月24日(土)～31日(土)の期間にオンラインで開催された総会において、以下の議題が報告もしくは提案され、了承されました。なお、総会資料・議事録につきましては支部ウェブサイトに掲載されました。

1. この一年の活動報告
2. 「日本英文学会中部支部 理事選挙規定」改定案
3. 前年度会計決算報告
4. 今年度予算案
5. 次年度以降事務局担当校ならびに支部大会開催校について

### ◎理事選挙結果および新年度役員

2021年4月からの2年間の任期とする理事を選出するための事前の候補者推薦作業を経て、オンラインでの総会開催と併行して、理事選挙規程に基づき支部理事選挙の信任投票が行われました。その結果、次の10名の方々(敬称略)が理事に選出されました。

内田勝(岐阜大学)、杉野健太郎(信州大学)、滝川睦(名古屋大学)、田中智之(名古屋大学)、中川直志(中京大学)、長澤唯史(椋山女学園大学)、長畑明利(名古屋大学)、丸山修(静岡大学)、山本卓(金沢大学)、吉田江依子(名古屋工業大学)。

また、2021年度は引き続き現事務局が事務を担当することや地域のバランスを考慮し、支

部規約21条に定める推薦理事に、次の7名の方々(敬称略)が選出されました。

石川一久(愛知学院大学)、内海智仁(岐阜大学)、近藤浩(愛知学院大学)、内藤亮一(富山大学)、中村太一(福井大学)、野田明(三重大学)、前田満(愛知学院大学)。

中部支部選出本部役員については、次期理事会準備委員会にご検討いただき、下記のように決定しました。(敬称略)

支部代表理事[2021-22年度任期]: 滝川睦(名古屋大学)、支部選出評議員[2021-24年度任期]: 山本卓(金沢大学)、本部監事候補[2021-24年度任期]: 丸山修(静岡大学)。

### ◎『中部英文学』第41号投稿募集

『中部英文学』第41号投稿の締切は4月10日(土)必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読・厳守の上、奮ってご応募ください。

### ◎第73回支部大会発表募集

第73回支部大会は10月16日(土)、愛知大学(名古屋キャンパス)にて開催されます。研究発表応募締切は5月31日(月)必着です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

### ◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は、速やかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報は、中部支部の業務のみに使用し、他の用途には使用しません。

(文責 内海智仁)

## 関西支部

### ◎関西支部第15回大会について

2020年12月20日(日)11:00より、関西支部第15回大会が本部を近畿大学Eキャンパスに設置して開催されました。新型コロナウイルス感染拡大により、本大会はZoomミーティングを用いたオンライン大会へと開催形態が変更と

なりました。さらに感染状況悪化のため、当日は大会準備委員も開催地メンバーと自宅等での遠隔メンバーに分かれ、学生アルバイトも雇用できない厳しい運営となりましたが、それを補う形で3名の近畿大学教員に開催校協力委員として加わっていただきました。

前例のない初のオンライン大会のため、大会準備委員会では様々なリスクを検討し、委員のみならず発表者と司会者の皆様にも事前準備をお願いしました。その結果、4件の招待発表を含む14件の研究発表と、英米文学部門および英語学部門の2件のシンポジウム、最後の総会も含めてすべて実施することができました。参加登録者は205名で、英米文学部門シンポジウムには102名の参加があり、盛況のうちに大会は終了しました。残念ながら懇親会を開くことはできませんでしたが、大会自体は規模を縮小することなく予定通り遂行しました。

全てが手探りの状況の中で長期間にわたりオンライン大会の準備にご尽力くださいました大会準備委員の先生方、とりわけ綿密な進行計画と緻密なマニュアル作りにご尽力いただいた大会担当の副事務局長と副支部長を中心とする大会運営委員の皆様、および大変困難な時期に本部会場を提供してくださった近畿大学関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

#### ◎役員会および総会について

支部大会当日に開催されたZoomによる理事・評議員合同役員会では、支部長より2020年秋に行われた支部理事選挙、支部長選挙の結果および次期支部体制(後述)についての説明に続いて、大会準備委員長と機関誌編集委員長からそれぞれ事業報告があったほか、会計報告案が承認され、第16回大会を京都大学で12月18日開催予定であることが報告されました。また2022年の全国大会の同志社大学での開催決定の報告がありました。総会に先立ち、支部長の挨拶および編集委員長より奨励賞の発表(『関西英文学研究』第14号については支部統合号編集後記をご覧ください)があり、総会では上記の件について報告がなされました。受賞論文は、廣野充紀氏(関西学院大学大学院生)の「Soule-Diseased Knight—『妖精の女王』第一巻における赤十字の騎士の両義性再考—」です。今回は

コロナ禍の中、奨励賞が出せたこと、そして初めてのオンライン支部大会が滞りなく開催できたことにZoomで支部大会に参加した会員のみさんから数多くの拍手マークが点灯されたことが記憶に残る出来事となりました。

#### ◎次期支部体制について

2020年9月から11月にかけて支部理事選挙を行いました結果、次の10名の次期支部理事が選ばれました。家入葉子(京都大学)、圓月勝博(同志社大学)、小澤博(関西学院大学)、竹村はるみ(立命館大学)、玉井暉(大阪大学名誉教授)、服部典之(大阪大学:2021年4月より関西外国語大学)、廣野由美子(京都大学)、水野尚之(京都大学名誉教授)、山田雄三(大阪大学)、横内一雄(関西学院大学)各氏です。新しい支部役員については、HPに掲載いたします。

#### ◎機関誌第15号の投稿について

『関西英文学研究』第15号の投稿締切は4月末日です。電子媒体での投稿となります。詳しくはHPで投稿規定をご確認ください。なお、修士号取得7年以内の関西支部会員ならびに準会員による優れた論文には奨励賞(この賞を受賞していない者)が与えられます。奮ってご投稿ください。

#### ◎関西支部第16回大会の研究発表の応募について

関西支部第16回大会は、2021年12月18日(日)京都大学にて開催される予定です。研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

#### ◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。支部大会では託児所の利用が可能となりました。大会案内にて通知いたしますのでそちらを御覧ください。以上、事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細

については、関西支部ホームページをご覧ください。

#### ◎2021年度新支部事務局について

関西支部事務局は2021年4月より移転いたします。詳しくはHPに掲載しますので、そちらをご覧ください。

(文責：難波江仁美)

## 中国四国支部

#### ◎2020年度中国四国支部総会について

日本英文学会中国四国支部第73回大会が2021年度に延期されたことに伴い、2020年度は日本英文学会中国四国支部総会の実地開催ができませんでした。このため本年度の総会は、12月下旬から1月上旬までの期間、メール・書面審議として実施しました。

審議事項は次の5件でした。(1)2019年度会計報告、(2)第73回支部大会について、(3)学会誌編集委員の交代について、(4)支部理事選挙結果について、(5)2021年度役員について。

それぞれの詳細は以下に記しますが、審議の結果、支部会員の皆様から特段のご意見等はありませんでしたので、すべて承認されたことをご報告します。

#### ◎理事会報告

2020年度中国四国支部理事会を2020年12月12日(日)にオンライン(Zoom)で開催しました。次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

##### 1. 会計報告および会計監査報告

松本舞事務局長補佐が2019年度決算報告を行い、会計監査(水野和穂氏、福元広二氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

##### 2. 第73回支部大会について

日本英文学会中国四国支部第73回大会は、2021年10月23日(土)と24日(日)に、県立広島大学(開催校責任者：栗原武士氏)にて開催される予定です。大会案内は2021年3月頃送付いたします。なお、今春研究発表のお申し込みをいただき、すでに採択された方々につきましては、後日事務局よりご発表の意思確認のご連

絡を差し上げます。

#### 3. 学会誌編集委員の交代について

2021年度の学会誌編集委員につきまして、以下の通り交代することとなりました。

・松浦雄二編集委員長の後任：

藤吉清次郎氏(高知大学、米文学)

・富樫剛委員の後任：

松本舞氏(広島大学、英文学)

・烏克也委員の後任：

赤山幸太郎氏(高知工業高等専門学校、米文学)

なお、松浦雄二委員は2021年度末まで編集委員として留任します。

#### ◎支部理事選挙の結果と新支部理事

支部理事選挙の結果、今林修、榎田一路、大地真介、大野英志、小野章、栗原武士、西原貴之、松浦雄二、水野和穂、吉中孝志(敬称略・五十音順)の10名が新理事に選出されました。

理事会終了後、上記10名の新理事による新理事会を開き、「日本英文学会中国四国支部規約」第五条2項に則り、選挙によって選出された新支部理事により、委員会役職、地域性、性別、専攻分野などを配慮し、太田聡、高口圭輔、田久保浩、辻祥子、福安勝則、藤吉清次郎、松浦芙佐子、松浦雄二、渡部知美(敬称略、五十音順)が新理事に追加選出されました。任期は2021年4月から2023年3月まで。

#### ◎新支部理事会の報告と新支部体制

1. 新しく選出された理事による新理事会での合議を経て、今林修氏(広島大学)が次期支部長に選出されました。任期は2021年4月から2023年3月まで。

2. 支部規約に則り、次の役員が選出されました。任期は2021年4月から2023年3月まで(敬称略)。

・副支部長：水野和穂(広島修道大学)

・事務局長：烏克也(安田女子大学)

・事務局長補佐：西野友一郎(近畿大学)

・会計監査：天野みゆき(県立広島大学)、栗原武士(県立広島大学)

・学会誌編集委員長：藤吉清次郎(高知大学)

・選挙管理委員長：小野章(広島大学)

・選挙管理委員：田多良俊樹(安田女子大学)、西原貴之(広島大学)

3. 各県の推薦制代表者が選出されました(敬称略)。香川県は現在未定となっています。
  - ・鳥取：福安勝則(鳥取大学)
  - ・鳥根：松浦雄二(鳥根県立大学)
  - ・岡山：松浦芙佐子(岡山商科大学)
  - ・広島：高口圭輔(安田女子大学)
  - ・山口：太田聡(山口大学)
  - ・徳島：田久保浩(徳島大学)
  - ・高知：藤吉清次郎(高知大学)
  - ・愛媛：辻祥子(松山大学)

#### ◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2021年度の第73回大会は、10月23日(土)・24日(日)の両日、県立広島大学広島キャンパス(広島市)で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月17日(月)(必着)です。たくさんのご応募をお待ちしております。

#### ◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第18号(英文学研究支部統合号第14号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月17日(月)(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://www.elsj.org/chu-shi/studies.html>)をご覧ください。

(文責：榎田一路)

## 九州支部

◎日本英文学会九州支部第73回大会は、令和2年10月17日(土)、18日(日)の両日に、西南学院大学(福岡市)での開催を目指し準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの流行のため、開催校のご意向を伺ったうえで、九州支部理事・評議員・編集委員で協議した結果、令和2年10月24日(土)から28日(水)にかけて、オンデマンド方式のウェブカンファレンスとして開催され、無事に終了しました。

◎令和2年度第2回支部編集委員会が令和2年10月24日(土)に、Zoomウェブ会議システムを使って開催されました。また、令和2年10月26日(月)から28日(水)にかけて、支部評議員会・理事会の合同会議がメール会議と

して開催されました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。議事録は支部ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

#### 《編集委員会議事録》

1. 『九州英文学研究』第36号(支部統合号Vol. XII)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第37号(支部統合号Vol. XIII)について
3. 九州支部学会賞(「優秀論文賞」、「奨励賞」)の審査について
  - ・九州支部学会賞の基準に沿って審議した結果、今回は「優秀論文賞」「奨励賞」ともに該当者なしとなった。
4. 「招待発表者」ならびに懲憑について
5. 令和3年度の支部大会について
  - ・今年度の開催校だった西南学院大学で、2021年10月中旬に開催予定である。
6. 次期編集委員選考について

#### 《支部評議員会・理事会議事録》

1. 活動報告
  - (1) 『九州英文学研究』第36号(支部統合号Vol. XII)刊行
  - (2) 大会Proceedingsの九州支部HPへの掲載
  - (3) 第72回支部大会開催：令和元年10月26日・27日、熊本県立大学
  - (4) 理事会・評議員会開催：令和元年10月26日、熊本県立大学
  - (5) 編集委員会開催
    - ・2019年度第2回：令和元年10月26日、熊本県立大学
    - ・2020年度第1回：令和2年8月1日、Zoomウェブ会議システム
    - ・2020年度第2回：令和2年10月24日、Zoomウェブ会議システム
  - (6) 第73回支部大会開催：令和2年10月24日～28日、ウェブカンファレンス
2. 会計報告
  - ・令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)の支部会計報告が行われ、監査の黒木隆善氏(九州共立大学評議員)による監査が行われた旨が報告された。
  - ・令和2年度会計の中間報告、ならびに令和



3年度予算案が提案され、承認された。

3. 統合号出版経費負担について
4. 編集委員会報告
  - ・上記の通り。
5. 評議員校について
  - ・2020年度の新規評議員校として、別府大学と宮崎公立大学が加わった。
  - ・長崎県立大学、福岡教育大学、福岡女学院大学で評議員の交代があった。
6. 令和3年度全国大会・九州支部大会の開催について
  - 第93回全国大会は早稲田大学、第74回九州支部大会は西南学院大学にて開催予定。
7. 理事名、評議員名、編集委員名の確認

◎日本英文学会九州支部理事選挙規約に則り、支部理事選挙を実施した結果、以下の方々が選出されました。任期は、2021年4月1日～2023年3月31日までの2年間です。(敬称略・50音順)また、本部理事には鵜飼信光氏(九州大学教授)、本部評議員には西岡宣明氏(九州大学教授)が内定しました。

秋好 礼子	後藤 美映	西岡 宣明
鵜飼 信光	小林 潤司	虹林 慶
大島由起子	高野 泰志	福田 稔
大橋 浩	高橋 勤	松元 浩一
加藤 洋介	竹内 勝徳	山田 英二

九州支部ホームページ

<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

(文責 田中公介)